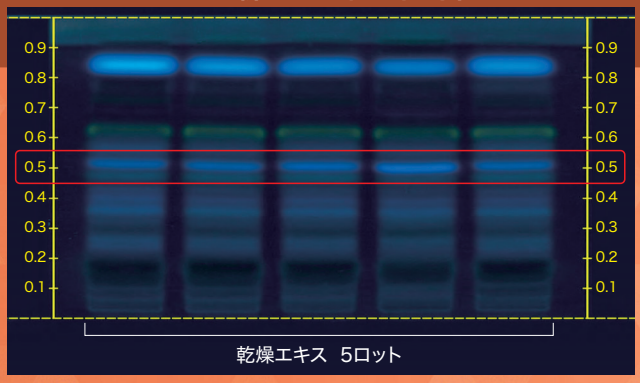
21報のヒト臨床試験が裏付ける 薬用マレーシア人参

トンカットアリ 乾燥エキス Physta®

植物	ニガキ科ユーリコマ属 トンカットアリの根
管理	GMP、Halal、Kosher、SDGs
製造元	Biotropics Malaysia Berhad

HPTLCパターン分析：ロット間の同等性



Rf値 0.5 Eurycomanone

Biotropics SDGsに対するコミットメント

トンカットアリ保全を通してマレーシアの熱帯雨林の遺産を保護する。

先住民族との地域密着型プロジェクト（2009～）

CASE ①

- 2014年9月 パハン州の先住民族集落にて、トンカットアリ再植林プロジェクト始動。
- 先住民族対象に実施する教育を通して、将来のトンカットアリ供給の安定性を確保。



PLANT A TREE, PLANT A FUTURE PROGRAM（再植林プログラム）

木を植え、未来を育む

「Harvest responsibly, replant consistently」
責任ある収穫、植林の継続

1本の木を収穫するごとに、最低でも苗木4本を再植林する活動

2025年には、アワナ・バイオパーク（ゲンティン・ハイランド）にトンカットアリを100本植樹しました。



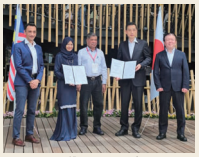
積極的なパートナーシップ契約（アスク薬品と日本市場での展開におけるMoUの締結）

2025年6月2日「持続可能な農業週間」Mr. Datuk Seri Haji Mohamad bin Sabuマレーシア農業・食糧安全保障大臣立会のもと、MoU調印式が執り行われました。

「トンカットアリ乾燥エキスPhysta®」の日本市場での販売および流通に向け、二社間の新たな協力体制の構築を目指します。

Biotropics：代表取締役	Ms. Haliza Ramli
営業・マーケティング部長	Mr. Nik Fahmi Mokhtar
アスク薬品：代表取締役	保坂 晃一
取締役	濱 一敏


Tree of Harmony 調和の樹


大阪・関西万博マレーシアパビリオンにて

Physta® 免疫調整作用

Phytother. Res. 30(4): 627 (2016).

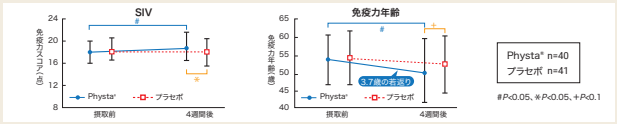
試験デザイン
ランダム化二重盲検プラセボ対照並行群間比較試験

対象
40～59歳の日頃「疲れやすい」と感じている免疫力スコア（SIV）が低かった男女健常者84名

試験食品
Physta® 200 mg/日 またはプラセボ

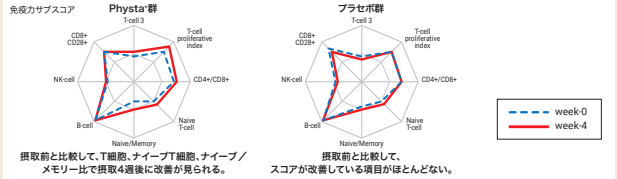
摂取期間
4週間

試験結果



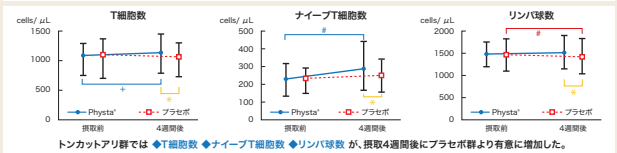
Physta® n=40
プラセボ n=41

#P<0.05、＊P<0.05、+P<0.1



摂取前と比較して、T細胞、ナイーブT細胞、ナイーブ／メモリー比で摂取4週後に改善が見られる。

摂取前と比較して、スコアが改善している項目がほとんどない。



トンカットアリ群では ◆T細胞数 ◆ナイーブT細胞数 ◆リンパ球数 が、摂取4週後にプラセボ群より有意に増加した。

#は摂取前と摂取4週間後でP<0.05　＊はトンカットアリ群とプラセボ群でP<0.05、+はP<0.1

安全性
・血液検査、尿検査等の結果より、安全性が確認された。
・試験食品と関係性のある有害事象の報告なし。

疲労感の軽減

Andrology. 13(3): 1000317 (2024).

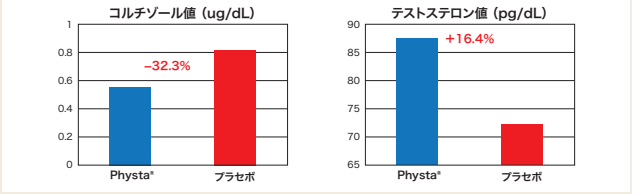
試験デザイン
ランダム化二重盲検プラセボ対照並行群間比較試験

対象
健常男性30名（26歳～52歳）

試験食品
Physta® 100 mg/回 またはプラセボ　単回摂取

試験方法
24時間マウンテンバイク持久レース、レース30分前に試験食品を摂取。1周（約24 km）ごとに、唾液サンプル採取して、コルチゾール値とテストステロン値を測定する（酵素免疫測定法）。24時間で4周走行、8回唾液を提供する。

試験結果
Physta® 摂取群に以下の結果が得られた
コルチゾール値の有意な低下（−32.3%, *P*<0.05）
テストステロン値の有意な増加（+16.4%, *P*<0.05）



結論
Physta®は、ホルモンバランス（T/C比）の「アナボリック」状態を促進することで、運動後の疲労感を軽減する作用が期待できる。

ホルモンバランス（T/C比）抗ストレス作用

J. Inter. Soc. Spors Nutr. 13(4):1 (2013) .

試験デザイン
ランダム化プラセボ対照並行群間比較試験

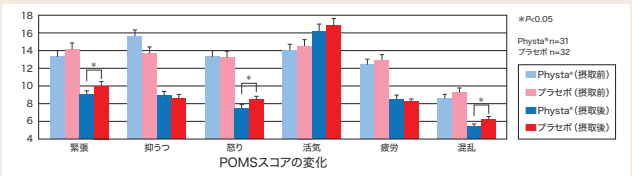
対象
ストレスレベルが中程度の男女64名

試験食品
Physta® 200 mg/回 またはプラセボ

摂取期間
4週間

試験方法
1）唾液中ホルモン検査（a. コルチゾール、b. テストステロン）
2）気分プロフィール検査（POMS）

試験結果
Physta® 摂取群は、プラセボ群と比較して以下の結果が得られた。
1）a：遊離コルチゾール値の有意な低下（−16%, *P*<0.05）
1）b：遊離テストステロン値の有意な増加（+37%, *P*<0.05）
2）緊張（−11%）、怒り（−12%）、混乱（−15%）が有意に改善



安全性
肝機能検査、体重などに有意な変化は認められなかった。

結論
Physta®には、ストレスを抱える人のホルモンバランス（T/C比）を整え、心理的な気分状態を改善する作用があることが示唆された。

発売元：アスク薬品株式会社
URL https://www.askic.co.jp
TEL 047-399-7598

ISO 9001 BUREAU VERITAS Certification
2004年4月から継続